

# 令和2年度 第9回 政策推進会議報告

日時 9月15日 13時32分～14時09分

場所 WEB会議室

出席者 18人

## 1 次期総合計画策定に向けた第5次尼崎市総合計画の点検について

## 2 尼崎市総合計画(第6次)の策定に係る「市民意見聴取に係る施策の概要」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

総合政策局長から資料に基づき一括して報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 次期総合計画の策定についてはいくつか大きな論点がある。まず、10年ぶりに基本構想を見直すということで、見直した結果どこまで変わるかはまだわからないが、少なくとももう一度立ち止まって考えてみるという作業が入る。これまでも4つのありたいまち(普遍性が高く、どこでも誰でもこうありたいなと思うようなまち)になるために、尼崎では何が課題か、何が優先なのかということで基本計画を作り、これを羅針盤という風に申し上げてきた。ただ、やはり尼崎らしさがもう少し表現されているべきではないかというご意見をかねてより根強くいただいており、今回はそういったところへのチャレンジを大きなポイントの1つに挙げている。

あとは、まちづくりは当然行政だけでなく市民・事業者の皆さんと進めていくべきものである。自治条例の制定を行い、現計画では各施策での市民・事業者の役割を細かく記載している。しかし、これを管理していくのがなかなか現実的ではないので、市民・事業者と総合計画をどう共有していくのか、進捗管理等も含めて少し大胆にやり方を見直す必要があるのではないかと考えている。

それと実務的な内容で、前期計画から後期計画に変わるときにも行ったことになるが、やはり施策の組み替えを行うほうがいい。例えば、社会教育と生涯学習、地域コミュニティの辺りはかなり再編が必要な状況になっているので、そういった点についてはまた整理していきたい。構想の見直しを待たずとも、単年度ごとにそうやって色々な論点はしっかりと蓄積していきたいと思う。

また、今年度初めて施策間連携サミットを開催した。各審議会の中心メンバーに集まっていたいただき、近い分野の動きや自分の専門分野との接続なども確認しながら連携を深めていこうということで、今後もしっかりと進めていきたいと思っている。総合計画はもちろん無関係な人がいない計画なので、皆さんよろしく願います。

## 3 西宮市との情報システム連携・共同化にかかる協定の締結について

総務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(市長) 例えると、西宮市のマンションに尼崎市の部屋を借りるようなことになる。しかし、同じ建物の中に西宮は西宮のシステム、尼崎は尼崎のシステムを入れるだけなので、第一段階では現行の財務会計システムが変更になるわけではない。

- 当初はそうである。いずれ共同調達となったときは同じシステムを使うことになる。
- ・(市長) 今後、システムの中身自体を統一できるようにすり合わせていくという業務の話が出てくる。費目は地方自治法で決まっているものの、例えば中事業の分け方や総合計画との紐づけの仕方などの細かい点については西宮と尼崎では違うと思うが、その辺りをどんどんすり合わせていくというイメージか。
- システムとして運用するときの共通点を確認して、次の更新時に同じシステムで運用できるかどうかを検討していく。細かい費目や中事業の辺りについてはこれからの調整となる。
- ・(市長) それは令和4年度以降か。
- そうである。今回の新しいシステムは、令和4年度向け予算編成から西宮のハードウェア上で稼働するが、その次の更新においてシステムの共同調達を目指すので、少なくとも向こう5年間はそれぞれ別のシステムで運用されることになる。
- ・(市長) 実務上、まだ5年は影響を受けないが、ゆくゆくはソフトレベルでのシステムの統一化を考えているということか。
- そういうことになる。今回はハードウェアの共同利用の段階で、ソフト等の運用に係る経費はこれまでと同じようにかかってしまうが、システムの共同調達ができれば経費もかなり削減することができる。
- ・(市長) 西宮との情報システム連携・共同化については、色々検討していただいた結果、ある種の親和性の高さや現行システムの切り替え時期をお互いに調整できることなどから、財務会計システムがパイロットシステムとして選ばれた。かねてから申し上げているように、例えば色々な事業者が絡むような帳票など、なるべく近隣他都市と統一したほうが社会全体の利便性が高まるようなものについても積極的に統一化に取り組んでいきたいと考えており、そういう点も引き続き協議されている。こうやって着々と取組が進んでいるので、今後も色々ご協力をお願いします。

#### **4 その他**

- 総合政策局長から、新型コロナウイルス感染症に伴う人権侵害の事例調査依頼について説明。
- 総合政策局長から、第7回近松賞受賞作品「馬留徳三郎の一日」尼崎公演について説明。
- 総合政策局長から、A-Lab Exhibition Vol.25「乱太郎とグッズの世界 その壺」について説明。

以 上